

PowerNet NTDS 1-#ネットコンバータ

2015 年 3 月、IXI Technology 社は米国海軍との間に NTDS イーサネットコンバータ(以降 PowerNet)を 5 年間で最大で 2 億 5 千万円分提供する旨の契約を結びました。PowerNet はイージス認証機関に承認された唯一の NTDS インターフェースを(光ファイバ/Copper) イーサネットへ変換することが可能な製品です。

NTDS f-7 ルをf- サネットに変換可能な PowerNet は電子戦システム AN/SLQ・32(V)6、SEWIP Block 3 への能力向上におけるf- デーバスとなっており、f システムに 2 台ずつ使われています。また海上自衛隊護衛艦に搭載された NOLQ・3 においても同様に PowerNet が採用されました。NOLQ・3 はむらさめ型護衛艦以降のたかなみ型護衛艦、ひゅうが型護衛艦、あきづき型護衛艦およびいずも型護衛艦で採用されています。また音響測深装置 AN/UQN・4 から AN/UQN・10 への能力向上の際に PowerNet が採用され、コントローラ・デーイスプーレイ側の I/O はf- サネットに変更されました。PowerNet を利用することにより MIL・STD・1397C で定義されているf- プール最大長の制限を超えて、センサー・武器システムといった重要なシステムと NTDS f- パクーフェースの備わっていない Windows、UNIX、Linux ペースのコンピュータを容易に接続することが可能になります。また f- オテクティの従来型 NTDS システムと COTS 化された f- プープーキテクチャの従来型 NTDS システムと COTS 化された f- プープーキテクチャの できます。PowerNet は操作性、メンテナンス性および拡張性の向上とコストの削減を同時に実現する為に利用されており、近年の能力向上プーログーラムには欠かせない存在です。

1980年代初頭から米軍では Link-11 システムのリプレースを開始しましたが、現在でもなお従来型の NTDS インターフェースによる Tactical Data Set および Data Terminal Set が使用され、またこれらは今日においても 修理され続けています。今日の防衛作戦においては従来型の防衛システムを近代化されたテウノロジーを備えた スタンダードプロトコルに変換することによって、イージスシステムの恩恵を最大化することが可能になります。







DTS





19 インチラックマウント型 PowerNet (艦艇搭載可能)

艦艇搭載用堅牢型 PowerNet

PowerNet には Windows と UNIX/Linux 用のソフトウェアライブラリが提供されています。IXI Technology(もしくは旧社名:Sabtech)の NTDS 製品をご利用され、独自アプリケーションを開発されたことのある既存のお客様はシームレスに PowerNet に移行することが可能です。

またリダイレクションソフトウェアを利用することにより PowerNet 上で遠隔の(ネイティブ)NTDS チャンネルにアクセスすることが可能です。リダイレクションソフトウェアはネイティブ NTDS チャンネル向けと同じ API を扱うことが可能ですが、あくまでもリダイレクションソフトウェアが遠隔の(ネイティブ)NTDS チャンネルを制御します。

厳格なリアルタイム性能が要求されるアプリケーションは決定論的に見積もることのできないネットワークの遅延を許容することができません。そのような場合にはカスタムソフトウェアモジュールを利用することにより独自開発したアプリケーションを PowerNet 上で直接動作させることが可能です。リアルタイム性能の要求するタスクは PowerNet 上で動作するカスタムアプリケーションで実行し、リアルタイム性能の必要のないタスクは Windows もしくは UNIX/Linux コンピュータで制御するといったことが可能になります。

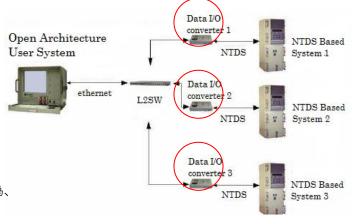
PowerNet には不揮発性メモリを備えており、ファーム ウェアおよび設定が保存されています。

設定は遠隔より Telnet もしくは SSH で接続し変更することが可能ですが、戦術作戦を通じて改ざんもしくは許可されてないデータのレコーディングを防止するために不揮発性メモリを書込み禁止に設定することも可能です。

イーサネットは非常に柔軟な通信インフラを提供する一方 アクセス許可の無いエージェントからの割り込みの脅威に さらしてしまいます。PowerNet はセキュリティ確保の為、 全てのデータを暗号化することが可能です。

 PowerNet は最大 2ch の NTDS インターフェースと

 2ch のイーサネットインターフェースを備え、イーサネットは冗長構成にし、自動フェイルオーバさせることが可能です。



従来型 NTDS システムへの導入事例

輸入代理店



ティー・ピー・ティー株式会社

東京都台東区池之端 1-6-13 境会館 5F 電話 03-5832-7350 ファックス 03-5832-7351

mail: info.t@tptech.co.jp URL: www.tptech.co.jp

販売代理店

注:仕様の詳細は PowerNet 英文データシートが優先されます。 2017/04/13